

政策 (- 1) 一人ひとりを尊重する人づくり

目的

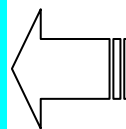
日常生活のなかで個人の能力や個性が十分に発揮できるよう、一人ひとりの人権を尊重し、相手の立場を考えて行動できる人づくりを進めます。

成果指標と目標値

目標値(平成19年度)

人権が尊重され差別のない社会になっていると思う人の割合

80.0 %



現状値 (平成15年度)

67.5 %

人権が尊重され個人の能力や個性が発揮されている状況を見る指標です。

現状と課題 - 政策の取組方向 -

島根の新しい時代を切り拓くには、一人ひとりを尊重し、相手の立場を考えて行動できる人づくりを進める必要があります。

本県でも、未だ差別や偏見が解消されるに至っておらず、様々な人権問題の早期の解決が重要な課題となっています。

このため、県民一人ひとりが、人権の意義や重要性を認識し、人権問題を自分自身の問題としてとらえ、解決に向けて取り組むことが必要です。

政策の目的を達成するため、次の施策を実施します。

- 1 - 1 人権施策の推進
- 1 - 2 男女共同参画社会の実現

県民のみなさんへ

男女差別、同和問題などの人権問題の早期解決が望まれているなか、児童への虐待やドメスティックバイオレンスなどの人権問題が顕在化しています。一人ひとりが日常生活のなかで、相手の立場や気持ちを考えて行動しましょう。